

公定歩合の引下げについて

平成4年7月27日
日本銀行

日本銀行は、本日、公定歩合を0.5% (3.75%→3.25%) 引下げることを決定し、即日実施に移すこととした。

同時に、預貯金等の金利の最高限度変更につき大蔵大臣の発議を受け、金利調整審議会に諮問した。

国内経済は、個人消費や設備投資を中心に最終需要の増勢が鈍化し、在庫調整もやや遅れ気味であるなど引続き厳しい調整局面にある。そうした状況下、物価は安定基調にあり、マネーサプライは低い伸びを続け、市場金利は軟化を辿っている。今回の措置は、以上のような状況のほか、為替相場の動向なども総合的に勘案し、わが国経済が物価安定を基盤とした持続的成長の経路に移行していくプロセスを一層確実なものとする趣旨に立って決定したものである。

日本銀行としては、今回の措置を含めこれまでの金融緩和の累積的効果が、わが国経済の安定的成長を実現していくことに十分資するものと考えている。

本措置により、金利水準全般が一段と低下をみていくことになる。日本銀行としては、それが経済各方面にどのような影響を及ぼしていくか、今後とも注意深く見守っていく所存である。

以上

日本銀行基準割引歩合および基準貸付利子歩合の変更

(平成4年7月27日実施)

1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 年3.25% (0.5%引下げ)
2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 年3.5% (0.5%引下げ)